

令和2年度 第10回「科学の甲子園山形県大会」

第10回「科学の甲子園山形県大会」に、本校2年次生の有志8名が出場しました。今年度は、コロナウイルス感染防止のために筆記試験は各高校で行い、実技試験のみが10月25日（日）に県教育センター（天童）を会場に行われました。筆記試験については、理科の4領域、数学、情報の中から知識を問う問題や知識の活用について問う問題が出題されます。また、実技試験については総合系（科学技術を総合的に活用して、ものづくりの能力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力等を用いて課題を解決する力を競うもの）で行われました。どちらの試験も、制限時間の中で問題を分担し合ったり、相談しながら協働的に進めてよいルールとなっています。筆記試験については、10月22日（木）の放課後を利用して行いました。問題を一通り見た後にそれぞれの得意分野を分担し、相談しながら協力し解答を進めていました。学校の定期考査とは異なり終始和やかな雰囲気の中で、楽しそうに問題に取り組んでいたのが印象的でした。また、実技試験については、「事前配付資料」に基づく事前準備や競技のシミュレーションを行いました。放課後、部活動の合間に物理室に集まり試行錯誤を重ねながら何回も実験をして、高得点を狙うための調整を行い本番に臨みました。

これをきっかけに科学に対する興味や関心が高まり、これからの学習に活かされることを期待しています。（下の写真は実技試験の風景）

みんなと協力しあいながら、楽しく課題に取り組むことができ、科学に対してより関心を持つようになった。また、実験をかさねていく中で、チームワークの大切さを学ぶことができた。この経験を生かして、普段の学校生活でも身近なものに関心を持つようにしたい。

